様式B-4

共同利用実施報告書（研究実績報告書）

（特定共同研究(B)）

１．課題番号　　　２０　　　－B－

２．研究課題名（和文、英文の両方をご記入ください。）

　　　和文：

　　　英文：

３．研究代表者　所属・氏名

 （地震研究所　担当教員名）

４．研究組織の詳細（研究代表者も記載し、必要に応じ行を追加してください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属・職名 | 担当 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

【ご協力のお願い】

文部科学省へ提出する「共同利用・共同研究拠点実施状況報告書」において、研究者参加状況について、内数の記載が求められております。そのため、大変お手数をおかけいたしまして申し訳ございませんが、研究組織に含まれる研究者について、以下の情報をご教示くださいますようお願いいたします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究組織のうち　35歳以下 |  | 名 |
| 　　　　　　　　女性 |  | 名 |
| 　　　　　　　　外国人 |  | 名 |

※原則として、共同利用実施報告書は、地震研究所webサイトにて公開しておりますが、上記参加状況の内数につきましては、webサイトには掲載いたしません。

※文部科学省へは総数のみを報告し、課題毎の参加人数は報告いたしません。

５．研究計画の概要（800字以内でご記入ください。計画調書に記載した「研究計画」から変更がある場合、変更内容が分かるように記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

６．研究成果の概要（図を含めて１〜2頁で記入してください。）

|  |
| --- |
| キーワード（3〜5語程度）： |

研究成果の概要（続き）

|  |
| --- |
|  |

（研究集会が開催された場合は以下についても記入してください。）

７．研究集会名（集会名の英訳もご記入ください。）

　　　和文：

　　　英文：

８．開催日：

９．開催場所：

１０．研究集会参加者の詳細（研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属・職名 | 旅費支給の有無 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※ご協力のお願い

文部科学省へ提出する「共同利用・共同研究拠点実施状況報告書」において、研究者参加状況について、内数の記載が求められております。そのため、大変お手数をおかけいたしまして申し訳ございませんが、研究組織に含まれる研究者について、以下の情報をご教示くださいますようお願いいたします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究組織のうち　35歳以下 |  | 名 |
| 　　　　　　　　女性 |  | 名 |
| 　　　　　　　　外国人 |  | 名 |

※原則として、共同利用実施報告書は、地震研究所webサイトにて公開しておりますが、上記参加状況の内数につきましては、webサイトには掲載いたしません。

※文部科学省へは総数のみを報告し、課題毎の参加人数は報告いたしません。

１１．延べ参加人数、研究集会の概要（100字程度、共同利用・共同研究拠点実施報告書に掲載します。）

延べ参加人数　　　　名　（うち外国人数　　　　名）

|  |
| --- |
|  |

１２．研究実績

※所外の課題代表者は、所内担当教員に必ず実績について地震研業績DBへの登録依頼をしてください。

国際学会発表（招待講演）

（学会発表かつ招待講演の場合、講演者名、タイトル、学会名、開催地、発表年（西暦）、招待について記入してください。

記入例：K.Obara, Meaning and prospect for science of slow earthquakes, IAG-IASPEI, Kobe Japan, 2017 (invited)）

国際学会発表

（学会発表の場合、講演者名、タイトル、学会名、開催地、発表年（西暦）について記入してください。

記入例：K.Obara, Meaning and prospect for science of slow earthquakes, IAG-IASPEI, Kobe Japan, 2017 ）

論文

（論文の場合、論文名、著者名、doi、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。doiが付与されている場合は、論文名とdoi、発表年のみでもかまいません。

記入例：Connecting slow earthquakes to huge earthquakes, Obara, K. and A. Kato, doi:10.1126/science.aaf1512, SCIENCE, 査読有，353, (6296), 253-257. 2016.）

１３．外部資金の申請・採択状況（任意、本紙提出後に採択の際にはメールでお知らせください。）報告書（様式B-4）作成にあたってのお願い

・ Web申請システム（https://erikyodo.confit.atlas.jp/login）にて提出してください。

・ 本報告書は、地震研究所Webページから公開されます。

・ 「４．研究組織の詳細」については、当該共同利用に参加した研究者全員について個別に、氏名・所属・職名・担当を記入してください。必要に応じて表の行を追加してください。

・「４．研究組織の詳細」及び「１０．研究集会参加者の詳細」については、文部科学省へ提出する「共同利用・共同研究拠点実施状況報告書」において、研究者参加状況について、内数の記載が求められております。そのため、差し支えなければ、研究組織に含まれる研究者について、35歳以下の若手研究者、女性研究者及び外国人研究者の内数について、ご記入ください。

・ 「６．研究成果の概要」について、継続研究（2年目、3年目）の場合は、これまでの研究の進展状況がわかるように、前年度までの成果についての数行程度の要約も記載してください。

・ 「１２．研究実績」には、原則として、雑誌および学会講演等として公表された成果（投稿済も可）のリストを記載してください。論文、学会講演予稿などについては、可能であれば電子媒体にて下記メールアドレス宛にご提出ください（未受理のものを除く）。難しい場合は、郵送にてご提出ください。

・ 学会講演予稿の公開について、既存の公開サイトがあり、リンクが可能な場合にはリンク先を記載してください。予稿が公開されておらず、また、リンクが不可能な場合には、地震研究所Webページからの公開可否を記載してください。

・ 「１３．外部資金の申請・採択結果」は、共同利用・共同研究拠点事業の参考成果として参照させて頂きます。本公募研究成果から、各種競争的資金・受託研究・産学連携の共同研究などへ繋がった場合は、その名称、研究課題名、期間、代表者、資金総額（予定額）などについて、記載してください。

【提出先】

〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学地震研究所研究支援チーム（共同利用担当）

E-mail：k-kyodoriyo@eri.u-tokyo.ac.jp

|  |
| --- |
| 研究成果公表にあたってのお願い東京大学地震研究所の共同利用・共同研究により得た研究成果を発表する場合は、地震研究所より助成を受けたことを必ず表示してください。予稿集またはプロシーディングスも同様です。Acknowledgment(謝辞)に、地震研究所より助成を受けた旨を記載する場合には「ERI JURP　20XX-X-XXの課題番号」を必ず含めてください。（記載例：課題番号｢2022-B-01｣）【英文】：下のいずれか・This study was supported by ERI JURP 2022-B-01 in Earthquake Research Institute, the University of Tokyo.・This study was funded by Earthquake Res., Inst., the University of Tokyo, Joint Research program 2022-B-01.【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(2022-B-01)の援助をうけました。 |